

みよしきらっと☆インタビュー

「自分たちの地域は自分たちで守る！」

《女性消防隊》 竹島さん(団長)、澤里さん、林さん、伊東さん、山室さん

「食はコミュニケーション」

《管理栄養士》 池田康幸さん

団員になった理由
☆女性消防隊を結成するための研修旅行の時、ドライバーとして参加していた

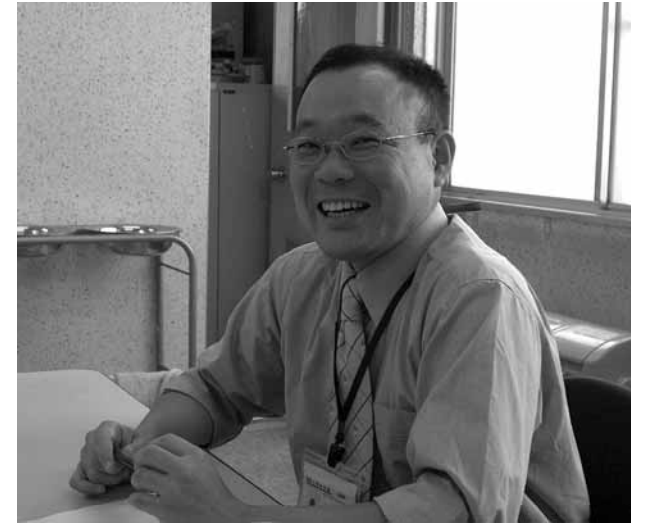
消防団とは火災の警報、鎮圧、火災の防除等の活動を行う機関です。(三芳消防団HPより) 団員は、通常、各自の職業に就きながら平時の予防・防災活動や火災時の消防防災活動に従事し、三芳町は、5つの分団(各15名)と女性消防隊5名で組織しています。発足から1年が経過した女性消防隊員5人にお話を伺いました。



伊東さん 澤里さん 山室さん 林さん 竹島さん

この仕事を選んだ理由
管理栄養士を目指して大学に進んだわけではないのですが、小学校一年生のときに入院したことがあり、そのときの病院食の味や食べ物を制限されたのが印象

三芳町保健センターに勤務する管理栄養士の池田康幸さんをご紹介します。健康に関する相談・講座のほか、乳幼児から高齢者の皆さまの健康づくりを「食」を通じてサポートし、多忙な毎日を通じて「食」をコミュニケーションをモットーに、地域に密着した活動を心がけている池田さんにお話を伺いました。



仕事について感じたこと
私たち女性消防隊は、防災に関する広報を中心に活動し、春や秋の防火キャンペーンや年末特別警戒では、消防車に乗ってアナウンスをしています。(女性のほうが声の通りがいいそうです) また、

良かったこと、苦勞したこと
☆防災に関する意識が高まり、また、地域にも目がいくようになってきました。☆父が消防団員だったので、あらためて消防団の役割、活動内容がわかり身近に感じるようになったことです。☆講習会に参加することで救命救急の仕方、AEDも使えるようになりました。家族のみんなが協力してくれました。☆ラップ隊に所属しましたが、吹くのは初めてなので苦勞しています。ラップ隊は結成されて3年、現在28名で週1回の練習をしています。

良かったこと、苦勞したこと
☆出初式や公式訓練の開会式での演奏、また、みよしまつりの花火開始ファンファーレも演奏し、晴れの舞台が増えました。

良かったこと、苦勞したこと
☆近々いる消防団の方に勧められて。☆主婦の私でも何か人の役に立てること、何かできることがあるのではないかと。思ったことです。☆トランペットの経験があり、ラップは吹けるのではないかと思いました。



●消防団ホームページ●
(<http://www.miyoshi-syouboudan.net/>)

今後の抱負について
まだ、火災現場に出勤したことはありません。男性団員に比べて体力的には厳しいかも知れませんが、女性でも適応能力次第では、今後はそれも有りかなと思います。今は現場での後方支援等しかり従事して、女性ならではの視点で何が出来るか考えていきたいです。男性、女性と区別せず、出来ることを出来る人がやっていければいいと思います。

今後の抱負について
高齢者家庭の防災診断に同行することがありますが、女性が一緒ということでもスムーズに話しをしてもらえます。また、職場や家族の理解を得ての活動は、ひとりの女性として認められているからこそできることだと感じています。

仕事について感じたこと
他市町村の保健センターにも男性の管理栄養士は少なく、研修会などに行ってもほとんどが女性です。苦と思ったことはありませんが、男性の管理栄養士も増えると良いですね。皆さまからの声などから得られた情報をもとに、地域の健康づくりをどう進めたらよいかを考えていくうちに、「食」は栄養素だけではなく、たくさんの役割があることに気づきました。そのひとつが、「食を通じたコミュニケーションづくり」です。



良かったこと、苦勞したこと
約10年前の入庁時、保健センターに管理栄養士がいるということ、住民の方々に知っていただくことが一番苦勞しました。そのために、管理栄養士の業務だけに固執せず、住民が求めているのは何か?を常に聞き考えながら様々な事業につなげることができたので、今思えば苦勞したことが良かったことになりました。運動の事業でも私が管理栄養士だとは知らずに参加されていた住民の方もいらつしたようです。子どもから大人の食育(食の楽しさや大切さ、生活習慣病や介護予防)についてお気軽に何なりとご相談ください。

今後の抱負について
住民の方々と一緒に食の重要性を考えながら、食育を推進したいと思います。そして何より住民の皆さんの身近に管理栄養士がいるような環境にしたいですね。

家庭での食育

家庭での食体験として、子どもにできる簡単なお手伝いを見つけてください。これは家庭という小さな社会での社会参加です。台所に一緒に立つだけでも、親が作るのを見せるだけでも、子どもは「食」の大切さを感じることが出来ると思います。